

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	英語力の検証と指導改善を図るための英語力等外国語能力強化地域の形成		<b>担当部局庁</b>	初等中等教育局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度		<b>担当課室</b>	国際教育課外国語教育推進室		外国語教育推進室長 渡邊倫子		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	Ⅱ-1 確かな学力の育成				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	—		<b>関係する計画、通知等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル人材育成推進会議中間まとめ(平成23年6月22日グローバル人材育成推進会議)</li> <li>・国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策(平成23年6月30日外国語能力の向上に関する検討会)</li> <li>・小学校学習指導要領(平成20年3月28日文部科学省告示)</li> <li>・中学校学習指導要領(平成20年3月28日文部科学省告示)</li> <li>・高等学校学習指導要領(平成21年3月9日文部科学省告示)</li> </ul>				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	外部検定試験の活用による英語力の検証と指導改善を図ることで新学習指導要領の着実な実施を促進するとともに、英語等の使用機会の大幅な拡充やモチベーションの一層の向上を図る等の優れた取組を行う英語力等外国語能力の強化地域を形成する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	<p>○生徒に求められる英語力の達成状況について把握・分析を行うため、実用英語技能検定(以下、「英検」)やGTEC for STUDENTS等の外部検定試験の受験を促すとともに、受験料の支援等を実施。そして、試験結果の集計や分析を実施し、授業における指導へ反映させる。</p> <p>○英語力等外国語能力の強化地域を形成するために、各都道府県教育委員会に対して以下のことを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会に独自の外国語教育改善プランの策定</li> <li>・外国人教員の積極的な採用と活用</li> <li>・各都道府県内の拠点校における取組に対する指導・援助</li> </ul>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算					517.5	
		繰越し等						
		計					517.5	
	執行額							
	執行率(%)							
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(28年度)
	中学校3年生で英検3級程度以上及び高校3年生で英検準2級程度以上を有する生徒の割合			%				32以上(中3) 30以上(高3)
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	拠点校等における中・高校生の外部検定試験受験者数			人				※24年度の活動見込である ( ) ( 117,500 )
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	英語力等外国語能力強化地域の指定件数(都道府県数)			件				※24年度の活動見込である ( ) ( 47 )
<b>単位当たりコスト</b>	11,011,447(円/1件(都道府県))		算出根拠	平成24年度概算要求額(517,538,000円)/英語力等外国語能力強化地域(47件(都道府県))				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	—	1.5百万円					
	教職員研修費	—	0.3百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費	—	515.7百万円					
	計		517.5百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・日本人のグローバル化を目的に初等中等教育段階における英語・コミュニケーション能力の育成という観点から事業案を作成しており、既存事業との重複がないことを確認している。</p> <p>・本事業では、中・高校生の外部検定試験受験者数と英語力等外国語能力強化地域を活動指標として立ており、①生徒に求められる英語力についてその達成状況を把握・検証することや、②生徒が英語を使う機会の充実や、英語教員の英語力・指導力の強化等通じ、学校・地域における戦略的な英語教育改善を図るという点で効果的な事業である。</p> <p>・グローバル人材の能力水準の目安として、二者間折衝・交渉レベルや多数者間折衝・交渉レベルの潜在的候補者層を厚くする(「グローバル人材育成推進会議中間まとめ」というものが掲げられている。本事業により初等中等教育段階の英語教育の充実を進めることで当該目標の達成に寄与するものとなっており、グローバル人材育成のために必要不可欠な事業である。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省  
517.5百万円

職員旅費： 1.5百万円  
教職員研修費： 0.3百万円 } を含む

外部検定試験の活用による英語力の検証と指導改善を図ることで新学習指導要領の着実な実施を促進するとともに、英語等の使用機会の大幅な拡充やモチベーションの一層の向上を図る等の優れた取組を行う英語力等外国語能力の強化地域を形成。

【公募・委託】

A.47都道府県  
378.2百万円

生徒の英語力の検証と指導改善を図ることで新学習指導要領の着実な実施を促進するとともに、英語等の使用機会の大幅な拡充やモチベーションの一層の向上を図る等の優れた取組を行う英語力等外国語能力の強化地域を形成

【総合評価入札・委託】

B.民間企業等(1法人)  
137.5百万円

生徒に求められる英語力の達成状況について把握・分析を行うため、外部検定試験の受験を促すとともに、受験料の支援等を実施

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.47都道府県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	英語力等外国語能力の強化地域の形成	378.2			
計		378.2	計		0
B.民間企業等(1法人)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	外部検定試験の活用による英語力の検証	137.5			
計		137.5	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0